

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

AWS

Budgetsサービスレベルアグリーメント

最終更新：2023年5月5日

本AWS IoT Eventsサービスレベルアグリーメント（「SLA」）は、AWS IoT Eventsの利用に適用される方針であり、AWS IoT Eventsを使用する各アカウントに個別に適用される。本SLAの契約条件と、[AWSカスタマーアグリーメント](#)または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約（「本件契約」）の契約条件の間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本SLAの契約条件が適用される。本SLAにおいて使用する用語（英文では大文字で始まるもの）のうち、本SLAで定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

サービスコミットメント

AWSは、毎月の請求期間において、99.9%以上の月間稼働率でSimpleDBを利用可能にするため、商業上合理的な努力を払う（「サービスコミットメント」）。Amazon EKSが月間稼働率のコミットメントを満たしていない場合、お客様は以下に記載するサービスクレジットを受け取る資格を有する。

サービスクレジット

サービスクレジットは、以下の表に従い、請求期間において月間稼働率のコミットメントを満たさなかったSimpleDBに対し利用者が支払った料金の定率として計算される。

月間稼働率	サービスクレジット率
99.0%以上、99.9%未満	10%
95.0%以上、99.0%未満	25%
95%未満	100%

サービスクレジットは、AWS PCSについて今後請求される支払いに対してのみ適用できる。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWSから返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が1米ドル（\$1 USD）を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、A

mazon

RDS

の提供における当社による利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合の利用者の唯一かつ排他的な救済は、本
SLA
の契約条件に従いサービスクレジット（該当する場合）を受け取ることである。

クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、[AWSサポートセンターでケースを作成する](#)ことにより、請求（リクエスト）を提出する必要がある。対象となるには、インシデント発生後、2回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えたクレジットのリクエストが当社に受領されなければならない。

i. 件名に「SLA Credit Request（SLAクレジットリクエスト）」という文言。

ii. 利用者が主張する各利用不可インシデントの日時。

iii.

エラーを文書化し、サービス利用者が主張した停止を裏付けるリクエストログ（これらのログ内の機密情報や機微性の高い情報は削除するかアスタリスク（*）で置き換えること）

かかるクレジットリクエストに関する月間稼働率を当社が確認し、サービスコミットメント未満であった場合、当社は、リクエストが行われた月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たすリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

AWS Budgets SLA例外事由

サービスコミットメントは、以下の場合（以下、総称して「AWS Secrets Manager SLA例外事由」という）、いかなるAWS Secrets Managerの利用不可状態、停止もしくは終了、またはその他のAWS Secrets Managerのパフォーマンス上の問題にも適用されない。（i）不可抗力事由もしくはAWS Secrets Managerの責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的支配の及ばない要因に起因する、（ii）利用者の任意の作為もしくは不作為に起因する、（iii）AWSサイトのAWS Secrets Managerユーザーガイドに記載された[ベストプラクティス](#)に従っていないことに起因する、（iv）利用者の装置、ソフトウェアもしくはその他のテクノロジーに起因する、または（v）本件契約に従った、AWS Secrets Managerを利用する利用者の権利の停止もしくは終了に起因する。

当社の月間稼働率の計算に明示的に使用される要因以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。

定義

- - SimpleDBの「月間稼働率」は、月次請求期間中において、SimpleDBが「利用不可」状態となっていた5分間のインターバルのパーセンテージを100%から減じて計算する。利用者が月の一部期間のみRDS Proxyを稼働させていた場合、RDS Proxyは、稼働されていなかった当該月の期間について、100%利用可能であると想定される。月間稼働率の測定では、Amazon MWAA SLA例外事由のいずれかに直接または間接的に起因するダウンタイムを除外する。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされることのある、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。
- 「利用不可」とは、AWS Budgetsへの接続リクエストが1分間にすべて失敗した状態を意味する。